

2 とちぎの文化創造プロジェクト

1 プロジェクトの概要

(1) 目標

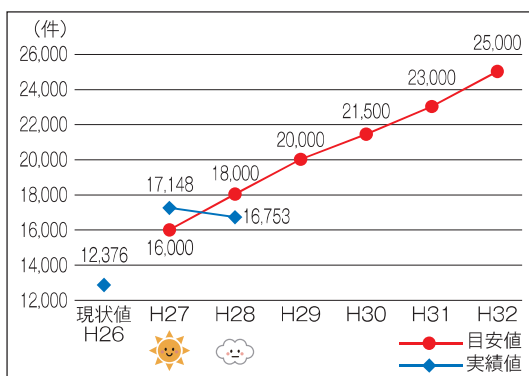
- 豊かな自然や歴史の中で培われた本県独自の伝統文化や文化活動を保存・継承していくとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催等を契機に積極的な活用・参加と国内外への発信を推進することにより、地域の活性化を図ります。

(2) 重点的取組

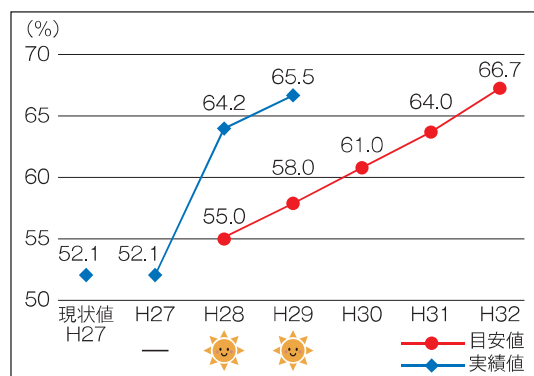
- ☆ 伝統文化等を通じた世代間・地域間交流の促進
- ☆ 文化・芸術に親しむ環境づくり

2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

① 「とちぎの文化財」・「いにしへの回廊」
ホームページへの年間アクセス件数



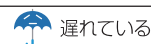
② 文化・芸術活動参加率



(注)達成見込の判断



やや遅れている



○成果指標の分析

- ① いにしへの回廊ルートを活用した行事の実施や、ホームページのリニューアルを行って情報発信に取り組んでいるが、年間アクセス件数は前年度と比べやや低迷している。
- ② 文化・芸術活動参加率は、県立文化拠点施設や県内各地での様々な文化イベントの開催など、県民が身近に文化を鑑賞・発表する機会が増加していることも一因となって上昇しており、目標達成に向けて概ね順調である。

3 県民満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	32.1%	38.1%			
やや不満・不満の割合	12.1%	12.4%			

4 主な取組成果

◎ 伝統文化等を通じた世代間・地域間交流の促進

▷ 世代間や地域間の積極的な交流

☆ 高校生が本県の伝統文化等について学ぶ機会の確保

- ・ 各学校における体験活動及び、総合的な学習の時間や特別活動による伝統文化に関する教育の充実

○ 貴重な伝統文化を継承する後継者の確保・育成

- ・ 文化振興基金の活用による地域の伝統的行事等の保存・継承活動への支援

○ 各種媒体を活用した魅力ある文化財情報の発信

- ・ 「とちぎの文化財」、「いにしへの回廊」ホームページの継続的なリニューアル
- ・ いにしへの回廊の各ルートを巡るバスツアーの実施
- ・ イベントや講座等を活用した文化財情報の提供
- ・ フェイスブックページ「体感！！とちぎの文化財」による親しみやすく積極的な情報発信

◎ 文化・芸術に親しむ環境づくり

▷ 県民の文化活動や学習活動の支援

○ 学校における文化・芸術活動の充実

- ・ 各教科や総合的な学習の時間、特別活動等での学習や文化部活動を通じた伝統や文化を理解し尊重する態度の育成
- ・ 埋蔵文化財センター等の展示や出前授業等を活用した学校の授業等で「本物」に触れる体験学習の充実
- ・ 伝統芸能や演劇等の巡回公演による文化鑑賞の機会の提供

○ 美術館、博物館、総合文化センター等における優れた芸術鑑賞機会の提供

- ・ 県総合文化センターでの優れた芸術家の鑑賞会の開催
- ・ 美術館・博物館での充実した常設展や企画展の開催
- ・ 栃木県芸術祭（4部門22分野）の開催による県民の文化活動への参加促進
- ・ マロニエ県庁コンサートの開催による若手演奏家を中心とした発表の場の提供
- ・ コンセール・マロニエ21の上位入賞者等を小・中学校に派遣しての、新進演奏家の鑑賞機会の提供
- ・ 県内の一流芸術家を講師とした県内各地区での芸術体験講座（入門編）の実施

○ 地域の芸術家や若手アーティストの育成支援

- ・ ジュニアピアノコンクール（大賞1名、最優秀賞5名ほかを選考）の実施
- ・ コンセール・マロニエ21（弦楽器・声楽・管楽器・ピアノのうち年1部門実施）の実施
- ・ ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー留学生オーディションの実施
- ・ プロの演奏家による高校の合唱・吹奏楽・器楽・管弦楽部の指導（マロニエサウンドクリニック）

○ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた「とちぎ版文化プログラム」の策定・展開

- ・ 「とちぎ版文化プログラム」の策定
- ・ 栃木県文化シンポジウム「とちぎの元気を世界に」の開催
- ・ 県立文化施設等の外国語解説機能の充実